

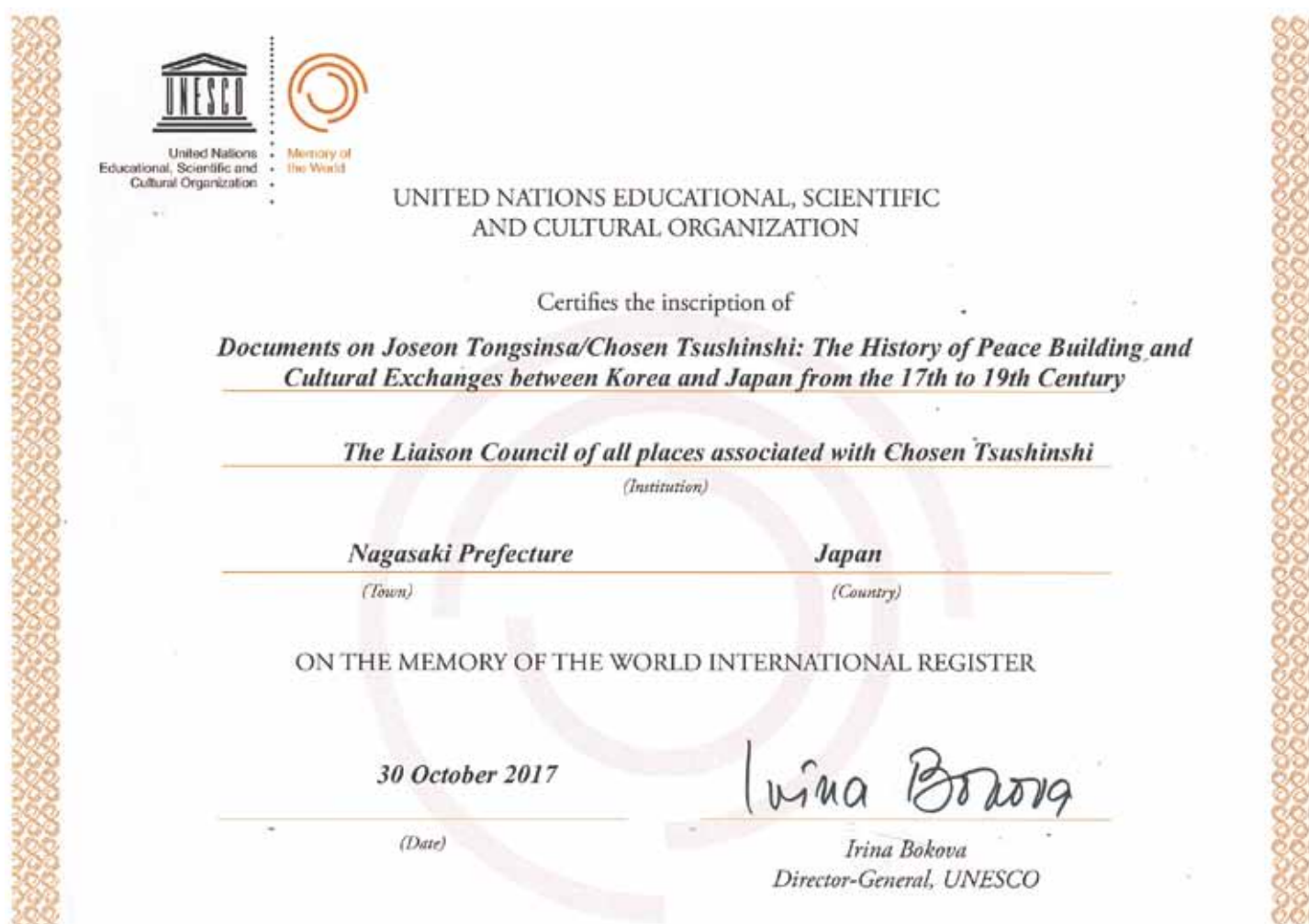
誠信交隣 21

縁地連だより

No.21

ユネスコ記憶遺産登録決定!!!

2017年10月31日



NPO法人 朝鮮通信使縁地連絡協議会

目 次

■はじめに	NPO法人朝鮮通信使縁地連絡協議会理事長・・・	1
< 縁地連の活動 >		
■朝鮮通信使ユネスコ記憶遺産登録決定	NPO法人朝鮮通信使縁地連絡協議会事務局・・・	3
■2017年度朝鮮通信使ゆかりのまち全国交流京都大会	NPO法人朝鮮通信使縁地連絡協議会事務局・・・	5
< 各地域の活動 >		
■第6次朝鮮通信使友情ウオーク及び関連イベントの報告	埼玉県 21世紀の朝鮮通信使友情ウオークの会・・・	7
■下関市におけるユネスコ登録関連行事について	山口県下関市・・・	9
■「唐人滞（とうじんみお）」について	朝鮮通信使船川御座船を考える会・・・	11
■ユネスコ記憶遺産登録資料の保存と活用に向けて	広島県福山市・・・	13
■「日韓の懸け橋」へ、スクラム	朝鮮通信使と共に福岡の会・・・	15
■第13回 川越唐人揃いパレード	江戸の詩文交換再現！ 川越唐人揃いパレード実行委員会代表・・・	17
■（公財）蘭島文化振興財団からのお知らせ	（公財）蘭島文化振興財団・・・	19
■牛窓に残る朝鮮通信使の足跡	岡山県瀬戸内市・・・	21
■朝鮮通信使ゆかりのまち全国交流会上関大会について	山口県上関町・・・	23
■財団法人釜山文化財団からのお知らせ	韓国釜山広域市・・・	25
■朝鮮通信使ユネスコ「世界の記憶」登録関連事業 報告	滋賀県長浜市・・・	26
■「通信使の精神」とは何か、どう生かすか	日本コリア協会・福岡・・・	28
■朝鮮通信使の集い I N対馬	長崎県対馬市・・・	30
○編集後記	・・・	32
○会員名簿	・・・	33

はじめに

NPO法人縁地連会員の皆様には、お元気でご活躍のこととお慶び申し上げます。

さて、2017年度の全国交流会は初の京都大会となりました。

今までの全国交流会開催地の中で最大の都市である京都で行われたこの大会は、本当に多くのお客様を動員し、盛大に行われました。

中でも、ユネスコ記憶遺産日本学術委員長であられる仲尾宏先生のご講演は資料を大スクリーンで映し出しての丁寧な解説が行われ、意義深いものとなりました。

また京都堀川高校生徒の皆様により行われたピアノ連弾や合唱、朝鮮通信使の創作舞踊劇など非常にクオリティの高い舞台が行われ、参加した皆さんを魅了しました。

翌日の京都市国際交流開会を出発した行列再現は勇壮に古都の街中を練り歩き、ロームスクエアにおいて行われたパフォーマンスも素晴らしい演技で、会場の皆様も沸きあがりました。改めて主催者の京都市様を始め、ご尽力いただいた皆様感謝申し上げます。

本年は誠に喜ばしいことがありました。

皆様もすでにご存知のとおり、2012年の取り組み開始から5年、縁地連立ち上げるための活動から考えると足掛け28年、活動の集大成とも言える、朝鮮通信使に関する記録のユネスコ記憶遺産登録が、2017年10月31日（フランス パリ時刻で10月30日）になされました。

これを受けて各地で記念行事が行われ、日本各地、韓国内においてもこの登録に沸きあがりました。朝鮮通信使に関する講演依頼も私のもとにも本当に多数申し出があり、朝鮮通信使の認知度は確実に、しかも大きくあがったものと思います。



釜山文化財団 柳代表理事と登録記念だるまの目入れ

この登録に向けて様々なご尽力をいただいたユネスコ記憶遺産日本推進部会員の皆様、登録資料のリストアップからその選定まで、大きな役割を担っていただいたユネスコ記憶遺産日本学術委員会の皆様、共同申請者として多大なご尽力をいただいた財団法人釜山文化財団様、また今回の登録に際してご協力いただいた全ての皆様、本当にありがとうございました。

この登録はひとつの大きな山場であり、ここを越えた私たちは、さらに加速して進んでいく必要があります。

まずはユネスコ連絡部会の設立、資料の図録及びデジタル化の事業を推進していき、全世界の方が資料にアクセスできる状況をつくりあげていく必要があります。

また韓国内でも同様の団体を設立する運びとなっており、この2つの団体の交流も今後進めてまいります。

現代の朝鮮通信使として、私たちはこれからも誠信交隣の精神を貫き、縁地の交流を深めてまいります。

結びに皆様のご健勝とご活躍をお祈りいたしまして、ご挨拶いたします。

11月に上関町でお会いしましょう。

2018年

NPO法人朝鮮通信使縁地連絡協議会

理事長 松原 一 征



京都大会にて 柳代表理事と



記録遺産登録発表 記者会見

朝鮮通信使に関する記録 ユネスコ記憶遺産登録決定！

2016年3月に申請書を提出していた、朝鮮通信使に関する記録111件333点が、日本時間2017年10月31日（フランス時間2017年10月30日）にユネスコHP上で登録が決定されました。



2014年度の日本推進部会発足より本格的な活動を行っていた本件に関して登録がなされたことは、縁地連として非常に大きな成果です。

今回の登録については、日本においてははじめての、世界においても稀有な例である、多国間の民間団体による申請での登録となり、今後は同様の案件のベンチマーカールとなることが予想されます。

そういった意味でも、一層価値の高い登録となりました。

登録に向けて結成されていたユネスコ記憶遺産日本推進部会も、2017年11月19日に開催した総会において解散が承認され、新たにユネスコ連絡部会（仮）の設立が議決され、2018年6月の結成を目指します。

このユネスコ連絡部会（仮）は今回の登録資料所有者と日本推進部会員を母体として、縁地連会員も参加し組織され、今後ユネスコ記憶遺産登録資料の保存と活用に関する情報交換等が主な活動内容となります。

改めて、資料所有者の皆様、ともに事業を推進してくださった日本推進部会の皆様、資料選定について最も大変な部分を担ってくださった学術委員の皆様、共同申請者として尽力いただいた財団法人釜山文化財団の皆様、今回の登録申請に関してご協力いただいた全ての皆様に心より御礼申し上げます。

今後ますます、今回の登録資料をはじめとした、朝鮮通信使というコンテンツそ

のもの価値が高まることが予想される中、縁地連の役割を考えていかねばなりません。

登録資料に関する詳しい情報は、縁地連だよりNo.19をご参照ください。

以下、ユネスコ連絡部会の概要を記します。

名 称：ユネスコ連絡部会（仮）

（第一回会合において正式名称決定予定）

組 織：NPO法人朝鮮通信使縁地連絡協議会内の部会として設置

部会長：縁地連理事長（暫定）

事務局：縁地連事務局（暫定）

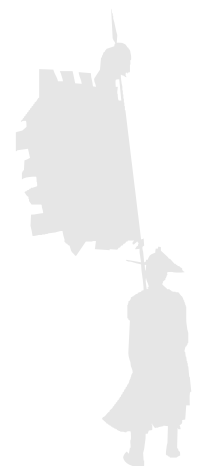
（部会長、事務局は第一回会合において正式に決定）

概 要：朝鮮通信使に関する記録のユネスコ記憶遺産登録を受けて、その保存・活用に関する情報交換等を行う部会。

ユネスコ記憶遺産申請書にも同様の役割を持つ団体設置を約束として記載している。

ユネスコ記憶遺産日本推進部会及び、ユネスコ記憶遺産 朝鮮通信使に関する記録 資料の所有者を母体として、縁地連会員も参画し組織する。

現段階の事業として、登録資料の図録作成、デジタル化（オンラインでの公開）を行うことを目指す。



縁地連事務局

縁地連京都大会

2017年11月18日（土）、19日（日）、朝鮮通信使ゆかりのまち全国交流会2017京都大会が開催されました。

今までの縁地連大会開催地で最大の都市である古都 京都で行われた全国大会は、紅葉の季節、非常に多くの観光客が訪れる中、非常に熱気ある全国大会となりました。

さすが京都！と感じたこととして、枚挙に暇がありませんが、強く感じたことを3点ほど。

1. 宿泊先を探すのに苦労する

事務局所在地対馬も宿泊先を探すのに苦労する場所ですが、対馬についてはそもそも宿泊施設が多くなく、情報として出てこない課題があつてのものです。京都は違います。宿泊施設はたくさんあります。

しかしながら数ヶ月前からもうホテルが空いていないという状況でした。

さすがの観光客数・・・

2. 空車タクシーが待てど暮らせどこない

これも対馬でも同じなのですが、対馬の場合タクシーは呼ばないと来ません。京都は違います。一杯走っているのにどのタクシーにも客が乗っています。本当に。さすがの観光客数・・・

3. 町並みが本当に綺麗

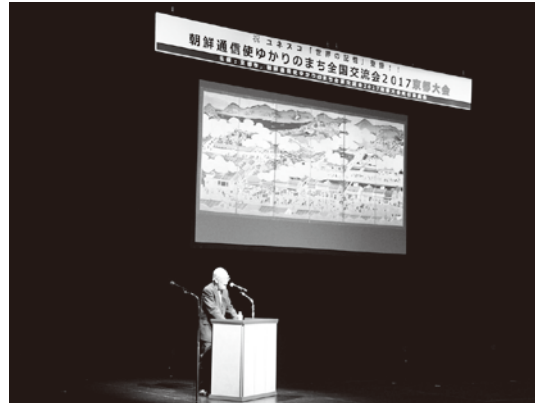
言うまでもありませんが、本当に町並みが綺麗です。立ち並ぶ小型商店もその意匠に工夫を凝らしており、町並み環境の整備とはこういうことを言うのだろうと感じさせてくれます。

歴史的建造物など京都の見所はたくさんありますが、街そのものが人を呼び寄せている、という風に感じました。

さて、全国大会恒例の理事会、定期総会を初日午前中に開催し、ユネスコ連絡部会（仮）設立の議決をいただいてから、全国大会の日程が本格的にスタートしました。

全国交流会の内容も、さすが京都、というべきクオリティの数々でした。

京都堀川音楽高校生徒によるピアノ連弾に始まり、仲尾先生の京都に関連する朝鮮通信使の資料の解説や、京都と朝鮮通信使に関する素晴らしい基調講演、休憩を挟んだ堀川音楽高校生徒による合唱、特に大会歌の合唱は縁地連大会に花を添えました。最後には朝鮮通信使をテーマとする創作舞踊劇。



(仲尾先生基調講演)



(創作舞踊劇)

私の語彙では表現が難しいことですが、なんとも不思議でありながら、かつ魅力的な舞踊。そして朝鮮通信使のことを非常にわかりやすく解説した映像と音声。どれも本当に素晴らしいもので、素直に感動の連続でした。

翌日のフィールドワーク、相国寺慈照院と高麗美術館を巡り記憶遺産登録資料を含めた、朝鮮通信使に関する資料を拝見することができました。



そして、イベントの締めくくりとなる朝鮮通信使行列再現については、勇壮な行列が京都の街を練り歩き、ロームスクエアにおいて披露された「プンムル」は今まで見た韓国伝統舞踊の中でもトップクラスに素晴らしいもので、皆さん食い入るように見入っていました。

実行委員会の皆様、京都市の皆様、民団京都本部の皆様、本当にお疲れ様でした。そして、素晴らしい大会をありがとうございました。

第6次朝鮮通信使友情ウォーク及び関連イベントの報告

21世紀の朝鮮通信使友情ウォークの会 会長 遠藤 靖夫

この機関紙が発行されるのは桜の散る頃だから第6次ウォークが東京・日々谷公園にゴールしてから1年近い。そして今は、第7次ウォークの準備に着手する時期に入っていて振り返るには少し色あせた。そこで第6次のレポートは簡略にし、ユネスコ登録を記念した関連イベントと併せて報告する。

《第6次ウォーク》

サムルノリが先導する再現行列とともにソウル・景福宮から出発。朝鮮通信使の足跡をなぞり、52日間の旅を完成させた本隊員（歩行距離500キロ以上の参加者）は日本隊25人（うち在日韓国人5人）韓国隊11人の計36人（全行程参加者は日本15人、韓国4人）。うち12人が初参加で、平均年齢は日本が70歳、韓国は68歳であった。また、京都から台湾の登山協会会長ら2人が加わって東京まで同行、10年目（2007年から2年ごとの開催）を迎える第6次はより国際化へ歩を進めた、といってもいい。



慰安婦少女像の設置をめぐる日本政府が駐韓大使と釜山総領事を一時帰国させるという最中だったが、ウォーク隊は和気あいあい。道すがら、いやがらせや不愉快な想いをさせられたこともなく、各地で出迎えてくれた自治体首長たちは「政府間がこんなに冷え込んだ中で、みなさんのウォークには心を打たれる。東京へ無事にゴール



してください」と一様に励ましてくれた。釜山の到着式とその後の韓国行程修了の打ち上げには数日前に到着したばかりの森本康敬総領事が駆けつけてくれ、一緒に祝杯を交わせたのもうれしかった。

対馬から大阪までの船やバスを利用した5泊6日の史蹟巡り。大阪からウォークを再開し、朝鮮人海道—中山道—美濃路—東海道といつもの旅。この間、下蒲刈小児童の歓迎交流、民団大阪本部の夕食会、垂井町における韓国隊員のホームステイ、名古屋と静岡の市民との交流夕食会など各地の様々な団体、組織が企画してくれた。全員が無事にゴールできたのも自治体、民団、日韓関係団体、ウォーク団体、市民等の暖かいご支援のおかげである。ありがとうございました。

《「21世紀の朝鮮通信使」が心を紡ぐ作品展》

2月27日から3月4日まで福山市のふくやま美術館で開催。ユネスコ登録を記念し、隊員たちが趣味や得意の技をいかした作品を一堂に展示した。

きっかけは地元福山在住の康静春さん（67歳）。第1次ウォークに参加、通訳として活躍した後、韓服のデザイナー、製作者に転進した康さんが同じ隊員でカメラマンの金井三喜雄さん（73歳）と相談して実現した。1次から6次まで友情ウォークの隊員は北海道から九州まで全国に点在するが、作品展には日本人17人、韓国人8人、在日韓国人4人が参加。写真、ハガキ絵、似顔絵、縫い代2ミリのチョガッポ、韓服、折り紙、パッチワーク、手刺繍、詩文、韓国民芸小物 など多彩な作品展示。「温かみのある作品ばかりでウォークの交流にも負けない文化の交流」と好評だった。



開催にあたっては縁地連でおなじみの福山市教委文化財課・檀上浩二氏にお世話になった。また、韓国体育振興会の宣相圭会長が二人の女性理事とソウルからわざわざ観覧にきてくれたほか、いつも輛の浦の史蹟案内をしてもらっている戸田政吉氏にも足を運んでいただいた。

《朝鮮通信使・日光ウォーク》

朝鮮通信使は第4次から5、6次の3回にわたって「日光遊覧」で東照宮に参拝している。日本橋から日光約150キロ。21の宿場があつて通信士は8日間という“高速”で往復している。

「日光まで足を延ばそう」・そんな声はこれまで何度か上がったが、ソウル東京の52日間にプラス6日間となると、いまひとつ前に踏み出すことができなかった。そんな私たちの背中を、「ユネスコ登録の記念としてやるいい機会」と押ししてくれたのが、川越唐人揃い実行委員会の小川満事務局長。栃木県出身の小川事務局長の執念はすさまじく、日韓文化交流基金の助成金交付申請書を取り寄せ、「さあ、書いて申請しましょう」。

友情ウォークの会と川越実行委が共同主催。10月8日に上の公園を出発し、同13日日光ゴールの5泊6日の旅。交流基金の助成金がうまくいけば韓国から10人を招待し、公募の参加者を含め総勢50人ほどの規模を予定している。

縁地連関係のみなさん、一緒に歩きませんか！

下関市におけるユネスコ登録関連行事について

下関市は本州の最西端に位置し、関門海峡、周防灘、響灘と三方が海に開かれた自然と文化に恵まれた海峡と歴史のまちです。また、下関市は古くから大陸や朝鮮半島との交通の要衝の地として、江戸時代の朝鮮通信使12回の使行においても、対馬止まりとなった最後の使行を除く全ての往復の旅程において滞在地となりました。

平成29年度においては、朝鮮通信使に関する資料のユネスコ「世界の記憶」登録が平成29年10月30日に決定し、下関市でも登録記念事業が行われましたので、ご紹介します。

1. 「下関と朝鮮通信使パネル展」の開催

ユネスコ「世界の記憶」登録の決定を受けて、平成29年11月7日から2週間にわたり下関市役所本庁舎新館ロビーで、下関市内に所在するユネスコ登録資料（5件10点）や、下関と朝鮮通信使との関わり、下関市におけるこれまでの朝鮮通信使行列再現事業を紹介する「下関と朝鮮通信使」パネル展を開催しました。

下関市役所でのパネル展の開催期間中、多くの来庁者に観覧していただき、ユネスコ「世界の記憶」登録の決定及び下関と朝鮮通信使との関わりについて、市民が理解を深める場となりました。



これに引き続いて、平成30年3月末までの間、下関市役所本庁舎でのパネル展市内6ヶ所での巡回パネル展を行い、下関市内全域において、ユネスコ「世界の記憶」登録の周知や下関と朝鮮通信使の関わりについて広く啓発を行いました。

2. 下関市立歴史博物館 特別展及び学術講演会 「朝鮮通信使—日韓の平和構築と文化交流の歴史」の開催

平成30年2月3日から3月11日にかけて、ユネスコ「世界の記憶」登録を記念し、下関市立歴史博物館において、朝鮮通信使の関連資料を集めた特別展が開催されました。

この特別展では、国内の登録資料48件のうち31件が展示され、全国各地の朝鮮通信使に関する貴重な資料が下関に集結しました。普段下関ではお目にかかれない資料が一堂に会したこともあり、観覧者の好評を得ました。

また、2月10日には、特別展の関連行事として、朝鮮通信使ユネスコ世界記

憶遺産日本学術委員会の仲尾宏委員長及び同韓国学術委員会委員で韓国釜慶大学の朴花珍教授をお招きして、学術講演会が下関市民会館にて開催されました。ここでは、登録が決定した「朝鮮通信使に関する記録」の紹介とともに、朝鮮通信使が果たした役割や歴史的な意義について、日韓双方からの視点による講演が行われました。

この場をお借りして、特別展及び学術講演会開催にあたりご協力をいただきました関係者各位に深くお礼を申し上げます。



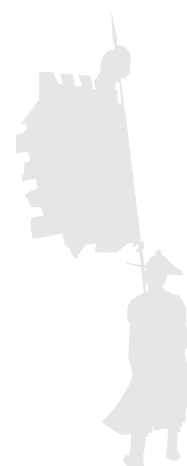
下関市立歴史博物館 特別展

結びになりますが、下関市では、今後とも夏の朝鮮通信使行列再現事業を中心に、釜山広域市市民との国際文化交流を推進するとともに、市内に所在するユネスコ登録資料の保存、普及、啓発に努めてまいりたいと存じます。

下関での朝鮮通信使行列再現は、8月25日（土）開催予定です。皆様のお越しをお待ちしております！



昨年夏の朝鮮通信使行列再現（関門海峡と九州の門司港を臨む）



「唐人滯（とうじんみお）」について

朝鮮通信使川御座船を考える会
(大阪川御座船の会)

代表 藤井 薫

○水の朝鮮人街道

朝鮮通信使の訪れた街には当時の歓迎の様子を伝える様々な貴重な文物や史跡が残され、世界記憶遺産（世界の記憶）登録を契機として一層、全国の注目を集めています。

朝鮮通信使の辿った道として最も有名なのは、滋賀県を通る朝鮮人街道ではないでしょうか。名前もさりながら、朝鮮人街道には、将軍と通信使にしか通行が認められていなかったという史実があり、日本での歓待ぶりを表す格好の場ともなっているからです。

一方、現在では地元でもほとんど知られていませんが、大阪にもかつて滋賀県の朝鮮人街道と同様のものがありました。

江戸時代の大阪（大坂）にあったのは街道ではありません。実は幕府と朝鮮通信使の船のみが通行できる水路だったのです。「唐人滯（とうじんみお）」と呼ばれたこの水路は、一部が埋め立てられていますが、現在の尻無川にあたります。



釜山より船に乗り、瀬戸内海を経て大阪（大坂）に到着した通信使一行は、大阪から淀川を京都・淀まで船で遡りました。淀川は外洋船では航行できないため、大坂湾の河口にて金箔に縁どられた豪華な川船「川御座船（かわござぶね）」に乗り換えます。この川御座船が華々しくデビューした舞台が、唐人滯だったという訳です。

弘化二年（1845年）発行の大坂細見図にもしつかりと「唐人滯」と明記されている「水の朝鮮人街道」尻無川の両岸には人々が大阪の町民が十重二十重になって詰めかけ、通信使を見物したと記録されています。

当会（大阪川御座船の会）では、この知られざるかつての「唐人滯（とうじんみお）」（尻無川）を辿ることにより、当時の朝鮮通信使が見た大阪の様子を追体験するとともに、その存在を広く知らしめたいと考えました。ルート上には、志半ばで異郷の地でこの世を去った通信使の墓のある竹林寺などもあります。昨年来何度か調査した後、世界遺産登録後の11月に一般公開により探訪ウオークを開催。NH

Kなど多くのマスコミにてご紹介いただいたところです。

○市内水上パレード、そして大阪から京都へ（今後の計画）

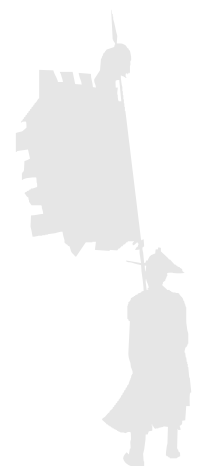
唐人漕から大阪市内に入った川御座船は、数百のお付きの大小の船に取り囲まれ、大阪市中で水上パレードを行い、土佐堀川の南岸、北浜の難波橋で上陸します。上陸後は、陸路堺筋を南下し、大阪での宿舎である北御堂（西本願寺津村別院）に向かいました。

大阪滞在の後、一行は再び川御座船に乗りこみ、京都を目指し淀川を遡上します。淀川の遡上には、川の浚渫作業や船を引く作業などに合計延べ3～4万人の人足が従事したと言われています。その費用はまさに莫大なもので、おそらく通信使の行程の中で最も費用がかかり、かつ華麗な道程がこの淀川の遡上であったと思われます。

海路は天候によっては生命の危険も伴いますし、江戸への陸路も大変骨の折れるものでした。それだけに通信使の一行もひと時の安全・快適、かつ風光明媚な淀川クルーズを満喫したものと思われます。

大阪周辺には通信使に関する話が数多く残されていますが、戦災等で史跡がほとんど残っていないこともあって、通信使のことはあまり知られていません。国内最大の在日コミュニティが存在し、古代より朝鮮半島と縁の深い大阪においてこそ、もっと朝鮮通信使の偉業が語り伝えられてしかるべきだと思います。

当会では、今後も昨年に引き続き、通信使の見た大阪の追体験をすべく、探訪ウォークや体験クルーズ等を実施するとともに、いずれは当時と同様に大船団を組織し、京都まで淀川を遡上したいと思っています。



ユネスコ記憶遺産登録資料の保存と活用に向けて

広島県福山市

2017年（平成29年）10月31日、「朝鮮通信使に関する記録」のユネスコ記憶遺産への登録が決定しました。福山市では、ユネスコ記憶遺産の意義と本市所在の登録資料について、市民への周知啓発と機運の盛り上げを図り、今後の保存と活用へつなげるため、登録記念行事を実施しました。

1. ユネスコ記憶遺産登録祝賀会

ユネスコ記憶遺産への登録が決定した2017年（平成29年）10月31日、朝鮮通信使の迎賓館として使用され、数々の文化交流が行われた福禅寺対潮楼（福山市鞆町）において、ユネスコ記憶遺産登録祝賀会を開催しました。

祝賀会では、駐広島大韓民国総領事館李載雄副総領事を招待し、福山市長枝廣直幹をはじめ関係者による祝賀くす玉開きを行い、朝鮮通信使も愛飲した保命酒で乾杯するなど、盛大に祝いました。



2. ユネスコ記憶遺産登録記念講演会

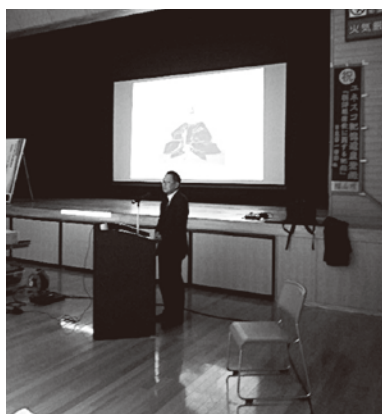
2018年（平成30年）3月17日、ユネスコ記憶遺産登録記念講演会を開催しました。

第1部では、朝鮮通信使ユネスコ記憶遺産日本学術委員会委員としてユネスコ記憶遺産の登録に御尽力された倉地克直岡山大学特命教授（研究）を講師に迎え、ユネスコ記憶遺産の意義や登録までの経緯、また、江戸時代の朝鮮通信使について、当時の国際情勢に触れながら御講演をしていただきました。

その後、韓国浦項市からの派遣職員で福山市職員として勤務する劉 哈 ナ（ユハナ）氏による福山市の親善友好都市である韓国浦項市の紹介を行いました。

第2部では、佐藤大志広島大学大学院教育学研究科教授を講師に迎え、福禅寺対潮楼で朝鮮通信使の漢詩の朗読と解説を行いました。ユネスコ記憶遺産登録資料の朝鮮通信使正使趙泰億詩書、副使任守幹詩書、従事官李邦彦詩書の漢詩について、分かりやすく解説してもらいました。朗読は中国語、韓国語でも行い、参加者は朝

鮮通信使の漢詩のリズムに浸り，共通の文化であった「漢字」での交流の様子を偲ぶことができました。



倉地氏による講演



佐藤氏による講演と漢詩の朗読

福山市では，上記の行事の他，ユネスコ記憶遺産登録の幟や横断幕，クリアファイル，パンフレットを作成するとともに，市役所や図書館などでパネル展示を行うなど，積極的に市民への周知啓発を実施しました。

2018年度（平成30年度）は，登録資料の保全のため「日東第一形勝」額字などの保存修理を行う予定です。また，これまで本市が取り組んできた「21世紀の朝鮮通信使 日韓トップ囲碁対局・輛」や初開催となる「ばらのまち国際音楽祭」での「21世紀の朝鮮通信使コンサート」など，引き続き朝鮮通信使に関する多彩な行事を予定しています。

是非，多くの皆様の御参加をお待ちしております。



福山市所在登録資料 「日東第一形勝」額字（福禅寺所蔵）



「日韓の懸け橋」へ、スクラム

朝鮮通信使と共に福岡の会

友好・平和の使節であった朝鮮通信使を旗印に、在日コリアン、日本の市民、福岡在住の韓国人が手を取り合って、日韓友好に役立ちたい。そんな思いで、当会を起ち上げた。発起人は民団福岡県地方本部の李相鎬（イ・サンホ）団長と元西日本新聞記者の嶋村初吉である。通信使のユネスコ「世界の記憶」登録を祝う日韓文化交流祝祭を昨年11月5日、能楽堂（福岡市・大濠公園）で開催した日に、会場を埋めた500人を超える観客に、当会の設立と趣旨を説明した。

10月31日未明に「世界の記憶」登録が決まって、恐らく通信使の縁地でも、トップを切る記念イベントだったと思う。釜山から、韓国側の学術委員長を務められた姜南周（カン・ナムジュ）氏が来賓として参加され、「通信使は未来へとつながる歴史遺産」「日韓の友好に弾みをつけます」と挨拶された。

来場者の声を紹介したい。「韓国独特の雅楽、演舞など心を一つにした熱演に感動」「日韓の民族の交流と融和が図られた」「真の日韓友好は民と民との交流」「通信使の復古を想像するに余りある祭典」など。2紙の新聞に、祝祭の様子が紹介された。

当会への入会の条件は、一つだけ。小冊子「21世紀の朝鮮通信使」（定価300円）を購入すること。会員になっても、通信使とは何か、その歴史を知っていなければ意味がないと、学びの入門書を発行した。祝祭開催の日、30人の方々が小冊子を購入され、入会してくれた。

今年に入り、2月17日、初の当会総会を民団福岡県地方本部のホールで開催した。参加者は約80人。前半は今年の事業計画発表、山口祐香さん（九大大学院）の講演、シンガーソングライター・野田かつひこさんのミニライブ、後半は交流会を行い、会員相互の懇親を深めた。

初の総会に合わせ、『21世紀の朝鮮通信使』第2弾・「韓国の道をゆく」をテーマにした小冊子を発行した。定価400円。

「世界の記憶」に登録された通信使を広く知ってもらうためにも、まずは漢城（現ソウル）から江戸（東京）、日光まで2千キロを超える通信使のたどった道を描いていきたいと考えている。日韓のゆかりのまちをつないできた通信使の、その

「つなぐ」の精神を二国間、さらには世界に発信してほしいと願って止まない、という熱い思いがある。

福岡県内では、通信使が地域活性化の一翼を担うまでに至っていない。江戸時代、来日した通信使を、福岡藩は相島（新宮町）で迎えた。通信使が福博のまちに入って来ていないところが、知名度を低くしているのではなかろうか。通信使顕彰活動を推進する民間団体は数団体あるが、従来のように単独で活動しては、効果が薄い。その視点から、必要に応じて一つに力を束ね、スケールメリットを追うことも重要である。そこで、規則に縛られない「通信使オール福岡」を起ち上げようではないかという提案を、この総会の場で行った。

今年の事業計画は、以下の通りである。ただ、イレギュラーでセミナーや講演会を途中入れていきたいと考えている。

◆7月14日（土）朝鮮通信使の講演会と歌

場所：博多区の旧九州幸銀ホール

1、講演：魏聖銓（ウィ・ソンジュン、法政大学講師）

2、野田かつひこミニライブ

◆9月27日（木）～29日（土）

朝鮮通信使・韓国の道をたどる（2泊3日）

密陽～清道～【泊：大邱】～聞慶～安東【泊：慶州】慶州～釜山

ほかに、①5月3日（木）～5日（土）朝鮮通信使祭り、②8月5日（日）対馬・厳原港まつり。朝鮮通信使再現行列、通信使の史跡見学、③11月17日（土）～18日（日）朝鮮通信使ゆかりのまち全国交流上関大会への参加、なども事業計画に組み込んでいる。

全国各地で行われている歴史顕彰事業では、主力になっているのは、おしなべて中高年層。若い世代が、かかわってきていない。後世に伝えていく上で、若者への伝承が不可欠であり、急務である。世代を超えて交流することは地域活性化の上でも大きい。教育分野、公民館活動などを通じて、歴史を伝えていく活動ができるよう、行政に訴えていくことも必要となるのではないか。

（文責：嶋村初吉）

第13回 川越唐人揃いパレード 江戸の詩文交換再現！

川越唐人揃いパレード実行委員会代表 江藤善章

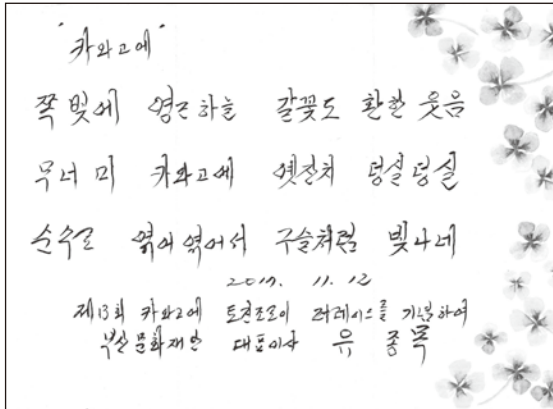
2017年11月12日、第13回川越唐人揃いパレードが、晴天の秋空のもとで開催されました。江戸の雰囲気を持つ蔵造り通りには、様々な団体の華やかなパフォーマンスが繰り広がり、2万人を超える街頭見学者もうっとり見とれるほどでした。

今回の13回目には思いがけないことが起こりました。それは、榎本弥左衛門と正使が詩文を交換することになったのです。朝鮮通信使の記録である「海遊録」には日本人と朝鮮人が詩文を通じて心を交わしてより深くむすびあった様子が感動的に描かれています。今回川越のパレードの中でその詩文交換が実現したのです。

今年（2017年）は朝鮮通信使が世界記憶遺産に登録された記念すべき年でした。日韓両国の民間団体が中心になって実現させたものですが、韓国で中心となった釜山文化財団の柳 鍾 穆（ユ・チョンモク）代表理事が多忙な中で川越唐人揃いパレードに参加して正使役までも引き受けて頂きました。その代表理事と川越の大商人である榎本弥左衛門役を最初から担っている長島威氏との宴席の場で文書交換の話題となり、今回お二人が詩文を交換してみてもどうかと声掛けすると、「それはいい！ぜひやりましょう！」ということになりました。突然のことでしたがお二人とも素晴らしい詩文をご持参下さいました。柳代表理事は朝鮮の形式である「時調」で、長島氏は俳句の形式で表現されました。パレードの重要な日韓友情交換の場で、朝鮮通信使正使役の柳代表理事が時調を読み上げると、榎本弥左衛門役の長島氏は俳句で応答し相互に交換したのです。

お二人の詩文を紹介します。





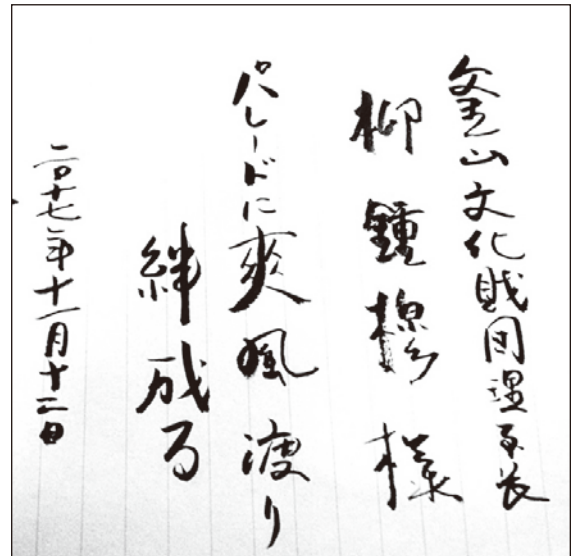
川越

天高く秋色 藍々と熟し
芒葦の花も燦々と白金の冠のごと輝く
遙か海川を超えて川越に来る
喜びて肩を揺らして踊る様は
昔日の宴のごとし
純粹な心をもって
縦糸緯糸となして織る
それまさに玉のごとく
今輝き放ちたり

第13回川越唐人揃いパレードを記念して

釜山文化財団代表理事 柳 鍾 穆

訳 江藤善章



川越商人榎本弥左衛門 長島 威

朝鮮通信使の往来で築かれた平和な時代では、和やかに詩文交換が行われたに違いありません。ユネスコの世界記憶遺産登録の持つ意味を、さらに実のあるものにしていきたいと思ひます。

松 濤 園

(公財) 蘭島文化復興財団からのおしらせ。

毎年10月の第3日曜日に開催している今年度の朝鮮通信使再現行列は、あいにくの雨天でありながら多くの観覧者が来島し、節目の年である15回目の再現行列を無事終わることが出来ました。今年度の再現行列では広島県呉市の姉妹都市の韓国昌原市鎮海区の林寅漢チャンウォン チネ イムインハン庁長に正使役を務めて頂き、下蒲刈市民センターから呉市立下蒲刈中学校までの約1.2kmの道を出演者、スタッフ合わせて約430名と共に練り歩き、国書交換式では日韓の友好を誓って頂きました。



下蒲刈島の石畳を練り歩く行列の様子



下蒲刈中学校での国書交換式の様子

10月31日にユネスコ「世界の記憶」へ朝鮮通信使に関する記録が登録され、当財団からも瀬戸内海を大船団で航海する様子の描かれた「朝鮮人来朝覚備前御馳走船行烈図」が登録されました。登録の発表後は、新聞やテレビなどの報道をご覧になったお客様が、朝鮮通信使に関心を持って朝鮮通信使資料館のある松濤園へ来館されるなど反響がみられました。

当財団では、ユネスコ「世界の記憶」登録を受け、登録資料である「朝鮮人来朝覚備前御馳走船行烈図」のリーフレットを作成し、ユネスコ「世界の記憶」や朝鮮通信使、「朝鮮人来朝覚備前御馳走船行烈図」について解説し、松濤園御馳走一番館に来館されたお客様を中心に広く周知しております。また呉市の全面的な協力により、呉市庁舎内、呉市観光情報プラザには当財団が作成したリーフレットを基にした拡大パネルを設置し、呉駅ビル、大和ミュージアム、呉市体育館の外壁や呉市内の全支所にはユネスコ「世界の記憶」登録を祝賀する横断幕、懸垂幕を掲揚し、

当財団のある下蒲刈町にも看板や幟等を設置し呉市と共同で祝賀ムードを盛り上げてまいりました。

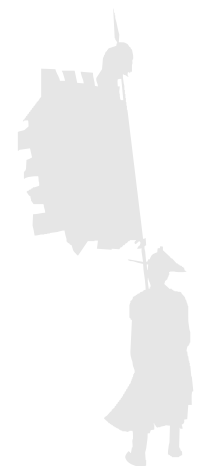
ユネスコ「世界の記憶」への登録の反響は今後も続くことが期待でき、朝鮮通信使資料館を運営する当財団として、朝鮮通信使の魅力を世界に広くお知らせする活動をしてまいります。朝鮮通信使の善隣友好の平和の精神が広がっていく事を願っております。

平成30年度の朝鮮通信使再現行列は10月21日 日曜日に開催いたします。皆様お誘いあわせの上お越しく下さい。

平成30年度の松濤園御馳走一番館の展示

- I) 4/11 (水) ~ 6/18 (月) 『異文化交流と朝鮮通信使』
- II) 6/20 (水) ~ 9/3 (月) 『朝鮮通信使の道』
- III) 9/5 (水) ~ 11/26 (月) 『朝鮮通信使と船の旅』
- IV) 11/28 (水) ~ 1/28 (月) 『描かれた通信使と来日の影響』
- V) 1/30 (水) ~ 4/15 (月) 『朝鮮通信使と江戸時代の心』

ユネスコ「世界の記憶」登録資料の『朝鮮人来朝覚備前御馳走船行烈図』は平成30年9月5日~11月26日の間、原資料の公開を予定しております。上記期間外は拡大複製パネルを展示する予定です。



牛窓に残る朝鮮通信使の足跡

平成29年10月31日、「朝鮮通信使に関する記憶」が世界記憶遺産（世界の記憶）に登録が決定となった直後、通信使の寄港地・牛窓町地域のある瀬戸内市では、祝いの懸垂幕やのぼりを掲げ、お祝いムード一色となりました。

本蓮寺（牛窓町牛窓）は、江戸時代初期に通信使の接待場所になっており、通信使が詠んだ詩書のうち、本蓮寺が所蔵する朝鮮通信使詩書（1件9幅）が今回の記憶遺産に登録されました。

登録決定から5日後の平成29年11月5日、「瀬戸内牛窓国際交流フェスタ」が開催され、朝鮮通信使の行列が再現されました。行列には、市民や韓国・密陽市の中学生などを含む200人が参加し、色とりどりの衣装に身を包んだ一行は、牛窓町公民館から本蓮寺までの約2kmを練り歩きました。



本蓮寺では正使役の朱哲完駐神戸韓国総領事と藩士役の武久顕也瀬戸内市長が「国書」の交換セレモニーを行い、両国の善隣友好を祈念しました。

翌年の平成30年3月24日には、「朝鮮通信使ユネスコ記憶遺産登録記念事業」として、祝賀会や記念講演会を開催しました。



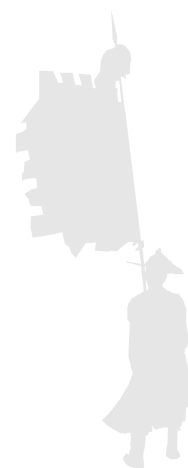
記念講演では、朝鮮通信使ユネスコ記憶遺産日本学術委員会委員・岡山大学特命教授である、倉地克直氏が「ユネスコ記憶遺産に登録された朝鮮通信使」と題し講演を行い、「瀬戸内地域は、時空を超えて朝鮮通信使に出会える場。景観・文化財など、現在も交流が続いている」と話しました。

記念事業期間中は、記憶遺産に登録された主な史料（他市町所蔵）のパネル展や、朝鮮

通信使詩書9幅の展示も行われました。



今年の「瀬戸内牛窓国際交流フェスタ」は、平成30年11月4日（日）開催を予定しています。自然美、感性美、伝統美、瀬戸内の美が溢れる瀬戸内市へ皆様のお越しをお待ちしております。



朝鮮通信使ゆかりのまち

全国交流会上関大会実行委員会事務局

●朝鮮通信使ゆかりのまち全国交流会上関大会について

山口県上関町では、平成30年11月17日（土）・18日（日）の2日間、朝鮮通信使ゆかりのまち全国交流会上関大会を開催いたします。

昨年京都大会でのNPO法人朝鮮通信使縁地連絡協議会定期総会において、上関大会実行委員会事務局の案として、イベントスケジュールの概要をお話させていただきましたが、その際にいただきましたご意見等を鑑み、イベントスケジュールを再度調整いたしました。

本来であれば、細かい日程をお示しさせていただくところですが、本原稿を執筆している時点では、実行委員会に諮ることができておりませんので、具体的な内容は控えさせていただきますが、1日目は会員様向けの内容（フィールドワーク含む）、2日目は一般のお客様もお楽しみいただける内容としておりますことを報告いたします。

●上関大会開催における注意事項

京都大会の総会の際にも説明させていただきましたが、上関町への交通の便の悪さと宿泊施設の少なさにつきましては当事務局といたしましても頭を悩ますところであり、みなさまにはご迷惑をおかけいたしますことを心よりお詫び申し上げます。

上関町の最寄り駅は柳井市の柳井駅となります。柳井駅を中心とした近隣市町にも宿泊施設はございますが、大きな街ではございませんので、数も限られると思われま

す。この度の宿泊施設につきましては、事務局確保の斡旋ではなく、近隣市町の宿



泊施設の紹介のみとさせていただきますのでご了承ください。（予約は各自でお願いいたします。）

柳井市周辺で宿泊施設を確保できない場合は、周南市や岩国市等の宿泊施設をご利用ください。

●上関町へのアクセス

最寄り駅となる柳井駅から上関町までは車で約30分、路線バスを利用した場合は約60分かかります。

周南市の宿泊施設をご利用の場合は、徳山駅から柳井駅（約30分）、岩国市の宿泊施設をご利用の場合は、岩国駅から柳井駅（約30分）の電車をご利用いただくこととなりますので、参考にしてください。

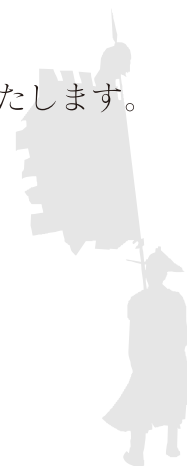
柳井駅から上関町までは送迎バス（往復2千円程度の利用料を徴収予定）を用意いたしますが、主要イベントに合わせて出発します。便数に限りがありますのでご注意ください。

なお、現在、上関大会会場の隣は公園を整備している最中につき、駐車場が限られます。状況によっては、町民グラウンドに臨時駐車場を設置し、シャトルバスを準備する予定です。

上関町での全国交流会は初めてで、来場者がどのくらいなのかも検討がつかない状況の中、交通の便の悪さ、宿泊施設の少なさもあり、送迎バス等の必要台数や交流晚餐会の参加者数が見込めないため、事務局といたしましても運営上早めに把握する必要があります。よって、上関大会の参加申込締切日を開催日の約2ヶ月前に設定する予定としておりますので、みなさまにご協力いただきますようお願い申し上げます。

※上記の内容は変更となる場合もございます。

詳細は最終的なご案内文書にてご確認くださいませようお願いいたします。



#2018 朝鮮通信使記録物 世界記憶遺産登録1周年記念 [朝鮮通信使週間]10. 25.-27.

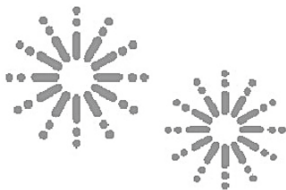
共に未来へ!



釜山博物館
朝鮮通信使記録物特別展オープン式
10. 25. (木) 15:00 - 16:30



国立海洋文化財研究所
10. 26. (金)
朝鮮通信使船進水式 15:00
関係者晚餐 18:00



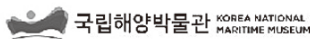
釜山文化観光祝祭組織委員会
釜山花火祭り参観 (登録記念花火)
10. 27. (土) 20:00 - 21:00



釜山文化財団
図録&白書出版記念会及び
関係者レセプション
10. 25. (木) 17:00 - 21:00



国立海洋博物館
学術シンポジウム
10. 27. (土) 15:00 - 17:00



平成29年度 滋賀県長浜市 朝鮮通信使ユネスコ「世界の記憶」登録関連事業 報告

近江国雨森村（現滋賀県長浜市高月町雨森）は、江戸時代に対馬藩に仕え、朝鮮との善隣外交に尽力した儒学者・雨森芳洲の出身地と伝えられています。

長浜市では、平成29年度、朝鮮通信使ユネスコ「世界の記憶」登録推進や普及啓発を図り、市民の気運を盛り上げるため、民間主体の推進実行委員会を立ち上げ、さまざまな事業を開催しました（10月31日の登録日以降の事業は、「登録記念」事業として実施）。

■雨森芳洲関係資料ユネスコ「世界の記憶」登録推進実行委員会設立：4月27日

■講演会

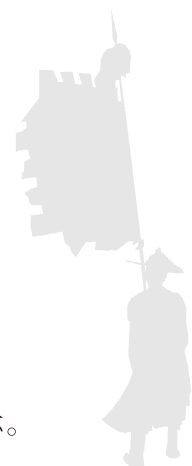
- ①「雨森芳洲と朝鮮通信使」 講師：木村至宏氏（成安造形大学名誉教授）
5月14日・観音の里歴史民俗資料館友の会共催
- ②「朝鮮からみた雨森芳洲と朝鮮通信使」 講師：吉田光男氏（東京大学名誉教授）
11月23日・芳洲会共催

■「列島各地に残る朝鮮通信使の足跡を考える」高校生会議：8月19日・20日

- 【1日目】第1部 基調講演「朝鮮通信使の意義と現代」仲尾宏氏
映像紹介「朝鮮通信使と民衆」広島歴史博物館制作
- 第2部 朝鮮通信使ゆかりの地の高校生の発表（福岡～滋賀、7校）
- 第3部 高校生と日韓の研究者との対談
- 交流懇親会（北近江リゾート）
- 【2日目】参加高校生等のフィールドワーク
雨森芳洲庵、渡岸寺観音堂、長浜城歴史博物館等
「地域から考える世界史」プロジェクト共催

■企画展示「世界に伝えたい雨森芳洲の「誠信」のころ」

- 10月4日～12月3日・高月観音の里歴史民俗資料館共催
- ユネスコ「世界の記憶」登録リスト所収の雨森芳洲関係資料全36点展示。



■ユネスコ「世界の記憶」登録祝賀会

10月31日・東アジア交流ハウス 雨森芳洲庵 大広間

■登録記念「芳洲先生子どもミュージカル・登録祝賀式典」

11月11日・長浜市立富永小学校共催

富永小学校全児童参加による芳洲の生涯と思想を紹介するミュージカルの上演。地域住民による応援合唱団の参加もありました。上演後、ステージ上にて全児童とともに登録祝賀のくす玉割り。実行委員会は、劇衣装の整備等に支援を行いました。

■登録記念シンポジウム「世界に伝えたい 雨森芳洲の『誠信』のこころ」

～『世界の記憶』を地域でどう活用するか～

11月12日・木之本スティックホール

第1部 映像紹介：「誠信交隣の象徴 朝鮮通信使の道」上映

第2部 REVE ミニコンサート

第3部 パネルディスカッション「『世界の記憶』を地域でどう活用するか」

ユネスコ「世界の記憶」と朝鮮通信使や雨森芳洲についての啓発を目的とするシンポジウム。崎に登録された関係者を迎え、それぞれの立場からの事例報告ののち、「世界の記憶」の活用や地域復興等について活発な意見交換が行われました。



高校生会議



登録祝賀会



子どもミュージカル



シンポジウム

「通信使の精神」とは何か、どう生かすか

日本コリア協会・福岡は、他の国際友好団体と共に毎月福岡市で開催する「アジアの平和を考える市民講座」の事務局を担当しています。3月の講座は、朝鮮通信使と共に福岡の会代表の嶋崎初吉氏を招き「江戸時代の朝鮮通信使の今日的意義」のタイトルで開催しました。講演要旨は次の通り紹介します。

◎韓国大統領の演説が波動に

朝鮮通信使は1607（慶長12）年を皮切りに、1811（文化8）年まで計12回来日した。名目は将軍の就任を祝う慶賀使で、国書を交換して両国の信義を確認し合った。ただし、3回目までは回答兼刷還使（さっかんし）とあって、秀吉の朝鮮侵略で日本に連行された母国人を連れ戻すことを主目的とした。外交使節であったが、日朝の善隣友好、文化交流に大きく貢献した。

1990年、来日した韓国の盧泰愚（ノテウ）大統領が、宮中晩餐会の答礼で触れた雨森芳洲が、通信使を印象づける演説となった。芳洲の出生地、滋賀県高月町（現、長浜市）のまち起こしは活気づき、対馬でも芳洲並びに通信使を顕彰する運動が盛んとなった。さらに、ゆかりのまちを繋ぐ朝鮮通信使縁地連絡協議会の結成（1995年）へと繋がった。このように盧泰愚大統領演説は、大きな波動となった。

◎朝鮮通信使の精神とは

通信使から、学べる精神とは何か。伝えていくべき精神とは何か。5点あげたい。

①平和維持へ、国のトップが信義交わす

江戸時代200年間、日朝間に平和が維持された。通信使は「信(まこと)」を「通わす」使節というように、当時、国のトップである朝鮮国王と徳川将軍が親書(国書)を交わしたことが、東アジアの平和維持のために大きな下支えとなった。

通信使を友好使節というが、それは結果論。秀吉の朝鮮侵略による惨禍に見舞われた朝鮮王朝は、日本に反省をうながす楔(くさび)をうつ。当初、使節の名称を回答兼刷還使としたのは、そのためである。外交使節として、威厳ある、厳しい姿勢で臨んだ。

②市民意識を変え、成熟させる

通信使往来には、日朝に思惑があった。「文」の国・朝鮮王朝は儒学思想で、野蛮な「武の国」日本を教え導きたい思惑を抱く。徳川幕府は天下統一後、支配体制強化に利用したいという思惑があった。その両国の思惑も、通信使を熱烈歓迎する日本の民衆によって、見事なまでに払われた。元祖韓流ともいえるブーム。これが表面的でなかったことは、儒学（李退溪＝イテゲ）、医学（許浚＝ホジュン）の間

答などからも知ることができる。

③「つなぐ」の精神で、偏見・誤解を解く

朝鮮では、日本認識を変える上で、通信使行員たちからの伝聞や、彼らの残した日本使行録などが効果を発揮した。それを役立てたのは一部の知識人（実学者）で、彼らは感情的な敵愾心や華夷観から脱皮して日本を見詰め直し、文化的に発展する日本に対する関心を深め、多数の啓蒙的な著作を残した。

例えば、李瀾（イイク、1681～1763）。朝鮮王朝において、当時の朝鮮知識人の日本への無関心や固定観念から脱して、日本の幅広い分野に関心を持ち、日本社会の実相や変化に注意した。日本の技術の優秀さを認め、立ち遅れている朝鮮の技術を批判した。また、日本の武器の製造技術が進んでいることを評価した。朝鮮の技術が衰退したのは、技術を軽蔑する意識と制度のお粗末さからだと言及する。

日本でも、木村兼葭堂（きむらげんかどう）など大坂の町人学者の間で、朝鮮に親しみを感じる人たちが多く見られた。

通信使の往来によって、相互の偏見や誤解が正され、日朝友好の輪が広がっていく。

④善隣友好・文化交流に寄与

18世紀後半、日本は文化文政期の繁栄に象徴されるように、文化、商工業が発達し、朝鮮通信使の一行も、驚きを隠せないほどであった。1764年に来日した通信使・正使の趙曦（チョウム）は対馬で見た救荒作物サツマイモを朝鮮に持ち帰って広めたことで知られる。サツマイモを、対馬では「孝行芋」と呼んでいたが、これが訛って朝鮮では「コグマ」となった。さらに趙曦は水車、舟橋、臼、堤防工事など日本の優れた技術を習おうとした。朝鮮の実学者も、これに同調した。

来日の度に、通信使の客館（宿泊先）を、儒学者、画家、医師など各界の人たちが訪ね、意見を交わし、技の交換を行った。これを通じて友情が芽生えている。

異国の使節に感動した商人（豪商）は、故郷に通信使の種をまいた。三重県分部町や東玉垣町の唐人踊り、川越の唐人揃いなどは、通信使を真似て生まれた。

⑤、誠信の交わり

対馬藩の外交官・雨森芳洲の著作の中で、最も評価されているのは、『交隣提醒（こうりんていせい）』であろう。61歳のとき、対馬藩主に対朝鮮外交の心構えを説いたものである。その中に、今日にも通じる、次のような言葉がある。

「互いに欺かず争わず真実を以て交わり候を誠信とは申し候」

意味するところは、互いに「欺かず争わず」「誠信」の精神にたって、交際・交流を行わなければ、行き詰ってしまうということである。長年、朝鮮外交にかかわった

体験から、自ずとにじみ出た芳洲の、この言葉は現代、日韓交流を進める上で大切な基本理念といえる。

以上5点のなかでも、「市民意識を変え、成熟させる」、「誠信の交わり」は、通信使の精神伝承の骨格をなすものといえる。

◎これからの課題

①、朝鮮通信使の知名度は、いまいち。

通信使の沿道、ゆかりのまちでは、恒例の祭りで行われる通信使再現行列などを通じて市民に親しまれている。通信使関係の史料も伝わり、通信使が身近である。しかし、そこを外れると、通信使の知名度はいまいち。これを、どう変えていけばよいか。

この面で、モデルとなる地域もある。韓国・釜山である。通信使祭り(5月)あり、豊富な史料あり、通信使の教育施設あり、史跡の復元・整備あり…などと380万都市のスケールメリットを発揮して、通信使に親しむ都市環境を整えている。

②なぜ、政治家が通信使を語らないか。

政治家が通信使を語れば、知名度が一気に広がる効果が期待できる。日韓関係を好転させ、友好関係を維持していこうと思うとき、通信使は大きなモデルになる。しかし、残念ながら通信使を語る政治家は、日本でも韓国でも皆無に等しい。超党派で結成する日韓議員連盟に注目しているが、期待外れに終わることが多い。

③教科書で、通信使の影は薄い。

日韓の子供たちの友情を育てる上で、何か良い教材はないか。それで辿り着いたのが、200年の友好の歴史を刻む朝鮮通信使だった。「日韓の懸け橋」ともいえる通信使を、日韓合同の教科書にしようと、広島と大邱（韓国・全羅北道）両市の教職員組合が数年間にわたって合同会議を重ねて教材づくりに励んで結実させ、実際に教育現場で活用した。このような通信使を活用した実践報告を、その後、ほとんど聞かない。

④通信使の精神を伝える人材育成が急務。

世界記憶遺産登録の「朝鮮通信使に関する資料」を、縁地の博物館や資料館などに陳列しておけば、通信使の精神が伝わるものではない。このようなハード面の充実に、縁地では今、力を入れているが、ソフト面も重視すべきである。なかでも、これを伝える人材をいかに育成していくかが、重要となる。

朝鮮通信使の集い I N 対馬

2018年2月24日、25日の2日間、朝鮮通信使に関する記録のユネスコ記憶遺産登録記念行事「朝鮮通信使の集い I N 対馬」を対馬市交流センターイベントホールを中心に、対馬市厳原町において開催しました。



(ミュージカル 対馬物語公演)

2月24日(土)には前夜祭として、対馬市民劇団「漁火」による、対馬藩初代藩主 宗 義智とその妻 マリアを描いた、ミュージカル「対馬物語」の上演をいたしました。会場はほぼ満員で、ご来場の皆様も、出演者の熱演に心打たれた様子でした。

翌25日(日)には、10時より朝鮮通信使に関する史跡フィールドワークを開催し、朝鮮通信使対馬顕彰事業会会長であり、ガイドの会やんこもの会長でもある小島 武博 氏により、対馬藩宗家の菩提寺 万松院 をはじめとした、朝鮮通信使ゆかりの史跡案内を行いました。小島氏の解説に参加者の皆様は理解を深めました。

13時から朝鮮通信使行列再現パレードを行い、約150人の行列が厳原市街地を勇壮に練り歩きました。途中で降雨があり、危ぶまれる場面もありましたが、参加者の皆様と朝鮮通信使行列振興会の皆様のご尽力のおかげか、なんとか目的地までの行程を終え、市民の皆様の沿道からの暖かい声援をいただきました。



(朝鮮通信使行列再現)



(詩書交換セレモニー)

14時から朝鮮通信使の集い I N 対馬式典を行い、朝鮮通信使ユネスコ記憶遺産登録に関する記録の登録記念セレモニーとして、申請者であるNPO法人朝鮮通信使縁地連絡協議会理事長 松原 一征 氏と韓国の財団法人釜山文化財団代表理事 柳 鍾穆 氏によるだるまの

目入れと詩書の交換を行ったほか、ユネスコ記憶遺産登録功労者への市長表彰を行いました。

舞台での時間の後半は、地元、豊玉中学校生徒による朝鮮通信使の学習成果の披露やこのイベントのために作成した動画の披露、最後に朝鮮通信使と対馬に関する題材を描いた「韃靼の馬」作者 辻原 登 先生からの韃靼の馬誕生にまつわる非常に興味深いご講演をいただきました。



(辻原登先生講演)

朝鮮通信使の集い I N 対馬の締めくくりとして、祝賀晚餐会を対馬グランドホテルにおいて執り行い、ペギンセ舞踊団による韓国舞踊やのだかつひこ氏のライブなどを行い、晚餐会を盛り上げるとともに、縁地連 松原 理事長よりユネスコ記憶遺産登録に関する感謝牌等の贈呈を行いました。

縁地連会員の皆様をはじめとした本当にたくさんの皆様にご参加いただき、本当にありがとうございました。

皆様のおかげをもちまして、盛会の内に終えることができました。

今後も対馬市は朝鮮通信使に関する市内の説明等のインフラの整備や、PRグッズの作成や朝鮮通信使に関する展示の場づくりなど、朝鮮通信使によるまちづくり事業をはじめとした朝鮮通信使関連事業に取り組んでゆく予定です。

皆様のご協力、改めてよろしく願いいたします。

編 集 後 記

NPO法人朝鮮通信使縁地連絡協議会 事務局長

皆様お疲れ様です。

2017年4月に対馬市の人事異動により縁地連の事務局となりました、小島と申します。前任の阿比留から引継ぎユネスコ記憶遺産関連について、右も左も前も後ろもよくわからないまま10月末に登録になり、そのまま押し流されるように本日を迎えております。皆様には色々ご迷惑おかけいたしました。

日韓民間団体による共同申請、登録。まれに見る快挙だと思われま。

ご尽力いただいた皆様、本当にお疲れ様でした。ありがとうございました。

今後、縁地連の団体としてのあり方も問われていくこととなるのではないかと思います。

交流を深めていければと思います。

NPO法人朝鮮通信使縁地連絡協議会 会員名簿

(自治体・団体)

(2018年3月現在)

No.	種別	会 員 名	氏 名	住 所
1	自治体	対馬市	文化交流・自然共生課	長崎県対馬市厳原町国分1441
2	自治体	日光市教育委員会	文化財課	栃木県日光市今市本町1
3	自治体	静岡市役所 生活文化局	文化財課	静岡県静岡市葵区追手町5-1
4	自治体	大垣市役所	経済部商工観光課	岐阜県大垣市丸の内2丁目29番地
5	自治体	長浜市	長浜城歴史博物館	滋賀県長浜市公園町10-10
6	自治体	近江八幡市役所 総合政策部	文化観光課	滋賀県近江八幡市桜宮町236
7	自治体	彦根市役所 企画振興部	企画課	滋賀県彦根市元町4-2
8	自治体	京都市役所	国際化推進室	京都府京都市中京区寺町通御池上る上本能寺前町488
9	自治体	兵庫区役所	まちづくり課	兵庫県神戸市兵庫区荒田町1-21-1
10	自治体	瀬戸内市役所	秘書広報課	岡山県瀬戸内市邑久町尾張300-1
11	自治体	福山市教育委員会	文化財課	広島県福山市東桜町3-5
12	自治体	呉市 文化スポーツ部	文化振興課	広島県呉市中央4丁目1番6号
13	自治体	上関町教育委員会	教育文化課	山口県熊毛郡上関町長島503
14	自治体	下関市役所	文化振興課	山口県下関市南部町1-1
15	自治体	壱岐市教育委員会	文化財課	長崎県壱岐市芦辺町深江鶴亀触515-1
16	自治体	白山市	文化振興課	石川県白山市殿町39
17	自治体	名古屋市教育委員会	文化財保護室	愛知県名古屋市中区三の丸3-1-1
18	自治体	たつの市	社会教育課	兵庫県たつの市龍野町富永1005-1
19	団体	台東区役所 世界遺産登録推進室	世界遺産登録担当	東京都台東区東上野4-5-6
20	団体	青丘人権文化の会	会長 八木勝子	大阪府門真市南野口町23-3
21	団体	公益財団法人 高麗美術館	代表理事 呉連順	京都府京都市北区紫竹上ノ岸町15
22	団体	かみのせき郷土史学習にんじや隊	井上敬二	山口県熊毛郡上関町室津549
23	団体	津市分部町唐人踊保存会		三重県津市東丸之内19-6
24	団体	唐子踊保存会	会長 吉川 悟	岡山県瀬戸内市牛窓町牛窓4952-6
25	団体	芳洲会	会長 北村又郎	滋賀県長浜市高月町雨森1166
26	団体	朝鮮通信使行列振興会	会長 稲田 充	長崎県対馬市厳原町国分1441
27	団体	朝鮮通信使対馬顕彰事業会	会長 小島武博	長崎県対馬市厳原町日吉388-9
28	団体	「静岡に文化の風を」の会	代表 佐藤俊子	静岡県静岡市葵区上足洗3-12-39
29	団体	唐辛子の会		静岡県伊東市池614-16
30	団体	東京対馬会	会長 糸瀬敬一	東京都大田区大森中2-6-6
31	団体	九州の中の朝鮮文化を考える会	嶋村初吉	福岡県筑紫野市筑紫駅前通2-252
32	団体	日韓交流・新宮チエビの会	堀田広治	福岡県糟屋郡新宮町下府1-2-31
33	団体	日本コリア協会・大阪	理事長 飯田光徳	大阪府大阪市北区錦町2-2
34	団体	日本コリア協会・福岡	堀田広治	福岡県糟屋郡新宮町下府1-2-31
35	団体	呉史談会	事務局長 高木克	広島県呉市西中央1-6-15-201
36	団体	一般社団法人対馬観光物産協会	会長 江口 栄	長崎県対馬市厳原町今屋敷672-1
37	団体	公益財団法人蘭島文化振興財団	理事長 渡辺理一郎	広島県呉市下蒲刈町下島2361-7
38	団体	NPO辛基秀と朝鮮通信使を研究する青丘文化ホール	姜鶴子	東京都港区元麻布2-3-34
39	団体	かみのせき史談会	松村宗明	山口県熊毛郡上関町室津868-2
40	団体	在日本大韓国民団大阪府堺支部		大阪府堺市堺区中安井町1丁目3番1号
41	団体	対州海運株式会社	代表取締役 松原一征	長崎県対馬市厳原町久田道1661
42	団体	21世紀の朝鮮通信使 友情ウォークの会	会長 遠藤靖夫	埼玉県さいたま市緑区中尾275-4
43	団体	株式会社 コミュニティメディア	代表取締役 米田利己	長崎市出島町1番43号
44	団体	在日本大韓国民団京都府地方本部	団長 河相泰	京都府京都市左京区下鴨宮崎町119
45	団体	軻の浦朝鮮通信使研究会	戸田和吉	広島県福山市今津町893
46	団体	川越唐人揃いソパレード実行委員会	代表 江藤善章	埼玉県さいたま市緑区中尾729-1
47	団体	社団法人 韓国体育振興會	会長 宣相圭	大韓民国seoul中區光熙洞1街89-1
48	団体	釜山素木會	会長 朴洪圭	大韓民国釜山広域市東區草梁上路92

NPO法人朝鮮通信使縁地連絡協議会会員名簿

No.	種別	会 員 名	氏 名	住 所
49	団体	NPO縁地連 朝鮮通信使関係地域史研究部会	会長 仲尾 宏	山口県熊毛郡上関町室津549-7
50	団体	相島歴史の会	会長代行 今村公亮	福岡県春日市千歳町3-30-51
51	団体	NPO法人 NGOひろしま	理事長 村田民雄	広島市中区小網町2-1
52	団体	NPO法人 日中韓から世界へ	代表 牛尾恵子	埼玉県狭山市水野646-6
53	団体	在日本大韓国民団中央本部	団長 呉公太	東京都港区南麻布1-7-32
54	団体	NPO法人 翔青会	理事長 松尾俊和	福岡県北九州市八幡西区鳴水2丁目10-1-2F
55	団体	静岡商工会議所	会頭 酒井公夫	静岡県静岡市葵区黒金町20-8
56	団体	NPO法人 AYUドリーム	理事長 雨宮令子	静岡県静岡市清水区興津中町60-2
57	団体	在日本大韓国民団山口県本部	団長 姜昌憲	山口県下関市東大和町2-13-10
58	団体	在日本大韓国民団福岡県本部	団長 李相鎬	福岡県福岡市博多区博多駅前1-18-17
59	団体	NPO法人フレンド・アジア・ロード	理事長 貴井正之	愛知県名古屋市中千種区池上町3-10-1
60	団体	日韓トンネル推進京都府民会議	前田逸郎	京都府京都市下京区大宮通松原下上五条町389
61	団体	一般社団法人新宮町おもてなし協会	代表理事 長崎武利	福岡県糟屋郡新宮町下府2-6-8
62	団体	東京日韓親善協会連合会	会長 保坂三蔵	東京都台東区池之端2-5-36
63	団体	在日本大韓国民団大阪府地方本部	団長 鄭鉉權	大阪府大阪市北区中崎2-4-2
64	団体	在日本大韓国民団東京地方本部	団長 金秀吉	東京都港区南麻布1-7-32-5F
65	団体	在日本大韓国民団愛知県地方本部	団長 朴茂安	愛知県名古屋市中村区亀島1-6-2
66	団体	在日本大韓国民団神奈川県地方本部	団長 金利中	神奈川県横浜市神奈川区鶴屋町2-10-1
67	団体	神奈川県日韓親善協会連合会	会長 斎藤文夫	神奈川県横浜市神奈川区鶴屋町2-10-1
68	団体	在日本大韓国民団埼玉県地方本部	団長 田嶋 玠	埼玉県さいたま市浦和区常盤4-16-7
69	団体	在日本大韓国民団滋賀県地方本部	団長 朴鍾文	滋賀県大津市島の関9-5
70	団体	在日本大韓国民団岩手県地方本部	団長 申百澈	岩手県盛岡市本宮4丁目3-8
71	団体	在日本大韓国民団長崎県地方本部	団長 姜成春	長崎県長崎市樺島町6-15
72	団体	在日本大韓国民団宮城県地方本部	団長 金政郁	宮城県仙台市青葉区本町1-5-34
73	団体	在日本大韓国民団群馬県地方本部	団長 朴旋用	群馬県前橋市古市町497-5
74	団体	在日本大韓国民団高知県地方本部	団長 鄭慶文	高知県高知市北本町3-10-48
75	団体	在日本大韓国民団佐賀県地方本部	団長 鄭清俊	佐賀県佐賀市神野東1-5-9
76	団体	在日本大韓国民団静岡県地方本部	団長 姜再慶	静岡県静岡市葵区弥勒2-5-22
77	団体	在日本大韓国民団岡山県地方本部	団長 宋燦錫	岡山県岡山市北区駅前町1-5-21
78	団体	在日本大韓国民団富山県地方本部	団長 金 仁	富山県富山市牛島新町4-3
79	団体	在日本大韓国民団広島県地方本部	団長 李英俊	広島県広島市東区東蟹屋町7-9
80	団体	在日本大韓国民団石川県地方本部	団長 金沂秀	石川県金沢市広岡2-6-26
81	団体	日韓親善協会中央会	会長 河村建夫	東京都千代田区平河町2-7-1
82	団体	朝鮮通信使川御座船を考える会	代表 藤井 薫	大阪府豊中市千里園1-10-4
83	団体	千葉県日本・韓国・朝鮮関係史研究会	会長 吉井 哲	東京都練馬区旭町1-16-24
84	団体	瀬戸内牛窓国際交流フェスタ実行委員会	代表 広畑周子	岡山県瀬戸内市牛窓町牛窓2806
85	団体	在日本大韓国民団茨城県地方本部	団長 張仙鶴	茨城県水戸市青柳町344-2
86	団体	朝鮮通信使日光ロード	代表 玉井久美子	埼玉県春日部市赤沼1366-1
87	団体	NPO法人 暮らしと耐震協議会	理事長 木谷 正道	神奈川県平塚市桃浜町11-33-207
88	団体	在日本大韓国民団 北海道地方本部	団長 李 圭 亮	札幌市中央区南9条西4丁目1-7 韓国文化会館4F
89	団体	山口県日韓親善協会連合会	会長 友田 有	山口県下関市岬之町8-16 コーエービル2F
90	団体	朝鮮通信使と共に福岡の会	共同代表 李相鎬、嶋村初吉	福岡市博多区博多駅前1丁目18番17号

(個人)

No.	種別	会 員 名	氏 名
1	個人	地域史研究部会	安田 和幸
2	個人	地域史研究部会	井上 敬二
3	個人	地域史研究部会	井上 美登里
4	個人	地域史研究部会	永留 史彦
5	個人	地域史研究部会	奥村 隆幸

No.	種別	会 員 名	氏 名
6	個人	地域史研究部会	岡部 良一
7	個人	地域史研究部会	加堂 貞幸
8	個人	地域史研究部会	丸尾 とし子
9	個人	地域史研究部会	岩川 龍一
10	個人	地域史研究部会	玉貴 信也

NPO法人朝鮮通信使縁地連絡協議会会員名簿

No	種別	会 員 名	氏 名
11	個人	地域史研究部会	原嶋 理恵子
12	個人	地域史研究部会	戸田 和吉
13	個人	地域史研究部会	高正 晴子
14	個人	地域史研究部会	佐々木 悦也
15	個人	地域史研究部会	佐々木 正行
16	個人	地域史研究部会	佐川 昭
17	個人	地域史研究部会	佐島 儀子
18	個人	地域史研究部会	山口 久範
19	個人	地域史研究部会	山田 雄彦
20	個人	地域史研究部会	市山 等
21	個人	地域史研究部会	紙上 勝美
22	個人	地域史研究部会	柴村 敬次郎
23	個人	地域史研究部会	小泉 和夫
24	個人	地域史研究部会	小田 章恵
25	個人	地域史研究部会	小椋 勉
26	個人	地域史研究部会	庄野 伸十郎
27	個人	地域史研究部会	松岡 睦彦
28	個人	地域史研究部会	松本 正子
29	個人	地域史研究部会	上月 香澄
30	個人	地域史研究部会	上西 法子
31	個人	地域史研究部会	上村 順造
32	個人	地域史研究部会	信原 修
33	個人	地域史研究部会	新本 直登
34	個人	地域史研究部会	仁位 孝雄
35	個人	地域史研究部会	杉田 功
36	個人	地域史研究部会	西谷 隆行
37	個人	地域史研究部会	千葉 俊樹
38	個人	地域史研究部会	浅野 慎太郎
39	個人	地域史研究部会	村田 景昭
40	個人	地域史研究部会	村田 ミチ工
41	個人	地域史研究部会	多賀 俊介
42	個人	地域史研究部会	中尾 清
43	個人	地域史研究部会	中澤 慶輝
44	個人	地域史研究部会	仲尾 宏
45	個人	地域史研究部会	町田 一仁
46	個人	地域史研究部会	長岡 武司
47	個人	地域史研究部会	蔦村 和雄
48	個人	地域史研究部会	坪井 裕一郎
49	個人	地域史研究部会	坪井 智美
50	個人	地域史研究部会	田中 解子
51	個人	地域史研究部会	島 祐二郎
52	個人	地域史研究部会	藤本 弘子
53	個人	地域史研究部会	梅本 明則
54	個人	地域史研究部会	八木 静恵
55	個人	地域史研究部会	夫 学 柱
56	個人	地域史研究部会	武内 禎子
57	個人	地域史研究部会	福永 知佐子
58	個人	地域史研究部会	福田 浩一
59	個人	地域史研究部会	片山 真理子

No	種別	会 員 名	氏 名
60	個人	地域史研究部会	芳村 竹子
61	個人	地域史研究部会	北村 久代
62	個人	地域史研究部会	北村 欽哉
63	個人	地域史研究部会	堀 ちず子
64	個人	地域史研究部会	藪田 俊輔
65	個人	地域史研究部会	柳原 一興
66	個人	地域史研究部会	鈴木 真弓
67	個人	地域史研究部会	和田 佐喜男
68	個人	地域史研究部会	尹 芝 恵
69	個人	地域史研究部会	尹 大 辰
70	個人	地域史研究部会	廬 桂 順
71	個人	地域史研究部会	齋藤 健司
72	個人	地域史研究部会	箕 真理子
73	個人	地域史研究部会	裴 順 姫
74	個人	地域史研究部会	千田 龍彦
75	個人	地域史研究部会	吉田 智史
76	個人	地域史研究部会	原田 令嗣
77	個人	地域史研究部会	高田 好浩
78	個人	地域史研究部会	山梨 涉
79	個人	地域史研究部会	盛月 寿美
80	個人	地域史研究部会	前林 孝一良
81	個人	地域史研究部会	早川 育子
82	個人	地域史研究部会	村上 和弘
83	個人	地域史研究部会	大賀 正行
84	個人	地域史研究部会	渡辺 泰子
85	個人	個人会員	萩原 昭一
86	個人	個人会員	鈴木 宏久
87	個人	個人会員	蓮池 章平
88	個人	個人会員	茶谷 十六
89	個人	個人会員	宮岸 美苗
90	個人	個人会員	中村 洋一郎
91	個人	個人会員	松井 三郎
92	個人	個人会員	魏 聖 銓
93	個人	個人会員	小川 順子
94	個人	個人会員	永富 青地
95	個人	個人会員	梁 永 宣
96	個人	個人会員	陳 捷
97	個人	個人会員	森 英一
98	個人	個人会員	山元 香
99	個人	個人会員	桜井 信寿
100	個人	個人会員	玉井 久美子
101	個人	個人会員	佐川 嘉奈子
102	個人	個人会員	水田 敏郎
103	個人	個人会員	李 ㊦周
104	個人	個人会員	金 鐘珉
105	個人	個人会員	石川 泰成
106	個人	個人会員	宮原 信哉
107	個人	個人会員	井本 克二

誠信交隣 2 1
縁地連だより No.21

発行日 2018年(平成30年)3月31日

発行 NPO法人朝鮮通信使縁地連絡協議会
〒817-0022

長崎県対馬市厳原町国分1441番地

TEL 0920-53-6111

FAX 0920-52-1214

HPアドレス <http://enchiren.exblog.jp/>

印刷 (資)厳原印刷所



2017年11月 全国交流京都大会